

マゾレベリング（台本）

目次

ep0

ep1

ep2

ep3

ep4

凡例

青字：情景を補完するために登場人物の動作を記してあります。実際にやっていただきたいわけではありません。また演技する上で余計な情報不要であれば消したものをお渡しすることもできます。

太字：強調してほしい言葉は太くしてあります。

————改ページ————

かいこう
epo 邂逅～Cross Trigger～

方針：マリアは通りすがりの冒険者に助けてもらえるように誘惑しようと考えています。なので、最初は色っぽい感じを出し意味を込めて語尾を緩くしてください。勇者と分かってからは少しかしこまる感じ語尾を引き締める感じでお願いします。

場所：黒々しい森の中

誰かー！誰かおりますでしょうか！

誰かー！

(駆けつける主人公)

ああ♥よかったです♥

申し訳ありません。

私、マリアと申します。

見て分かります通りい♥

僧侶として仲間と共に旅をしておりましたが…

その途中はぐれてしまいましてえ♥

私自身……その……お恥ずかしながら戦闘は不得手でして……。

このように右も左も分からぬ上に魔物がうろつく場所を不用意に動けず困っておりましたのお♥

お見かけしたところ、貴方も冒険者のようですのでそのお力を見込んでお頼みいたしますわ

私と一緒につれてくださいませんでしょうかあ♥

はあ……♥よかったです……♥お優しい殿方で助かりましたわ♥

では改めて、手短に自己紹介させていただきますわ♥

名前はマリア♥

ジョブは僧侶を務めさせていただいておりますわあ♥

戦闘の方は先ほど言ったように苦手なのですが…回復や補助は一通りできますわ♥

そして少々特殊な能力がありますの♥

ちょっと口で説明しても理解していただけないかと思いますので、後で実践も兼ねて説明させていただきますわ♥

こんなところでどうか？

差し支えなければ、貴方のことも少々教えてくださるでしょうか？

(少しの間)

えっ……ゆう……者……。あの勇者さまでありますか？

ええ、知らないわけがありませんわ。

この魔物が跋扈する世界を救う力を秘めし者。

そして伝承によれば伝承によれば勇者の資格がある者には右の手の甲に特殊な心の
臓を模した痣がついている……と。

あっ……その痣……確かに心臓の形……そしてただの痣ではないことも分かります
わ。

勿論♥

私たちの持つ魔力とも異なる力をその痣からは感じとれますもの♥

(マリア、顔を近づけまじまじと痣を見つめる。)

しかしこれが…ふーむ…この心臓の中の数字の5とはなんの数字でしょうか？

それ以外にも痣の下の方に数字のようなものが…

っと…申し訳ありませんつい…

ですがまさかこんなところで勇者様本人にお会いすることができますとは……

さすがに勇者の旅路の邪魔は気が惹けますわね…困りましたわあ♥

あつ♥いえ♥なんでもありませんの♥

それにしても何たる偶然♥何たる僥倖でありますわ♥

この私の能力を勇者様のお役に立てることができるなんて、身も余る光栄でござい
ますわ♥

いいえ、この僧侶マリア。

勇者様がなんと仰ろうともお供させていただき、全身全霊を以って勇者様に尽くす
所存でございますわ♥

不束なものではありますが、これからよろしくお願ひいたしますわ♥

勇者様♥

————改ページ————

ep1 扇情～Fan Fun～

方針：ここのポイントは吐息を聞かせるシコシコです。ねっとり湿度が高い感じでやってください。それ以外は見下し感じを忘れなければ間違いないです。

場所：宿屋 時間：夜

(ノックが数回のちマリア、入室。)

マ⇒夜分遅くに申し訳ありません。勇者さま。

(マリア、主人公の元に近寄る。)

少しお話したいことが.....。

では失礼して.....。

(マリア、椅子に座る。)

私マリア、森であてもなく彷徨さまよっていたところ助けていただいたこと、

大変恩義を感じております。心より感謝申し上げます。

いいえ、なんどお礼申し上げても足りぬくらいに感謝しております♥

させてください♥

しかし...実は用件というのはそれだけではありませんの♥

それはそれ。これはこれ。

勇者さま.....これから私、貴方を逆なでることを申します♥

ですが、どうかご無礼をお許しください♥

(マリア、椅子から立ち上がり、勇者の左耳元へ向かう)

では...

失礼して♥

勇者さま.....。

貴方、少々 **雑魚すぎ** ではありませんこと？

いえ、あくまで私が今までお会いした冒険者の基準なので確信は持てませんが...

いえ、それにしても勇者と名乗るにはあまりに**お粗末**な強さだと感じざるを得ませんでしたわ♥

私と出会った森を抜ける直前に魔物と出会いましたよね？

勇者様...足をガクガク震わせながら懸命に立ち向かってくださいましたが...

あの魔物、本来でしたら成人男性の並の腕力がありましたら余裕で倒せる魔物でしてよ♥

にもかかわらずそれに押し倒されてあわや**敗北寸前**♥

しまいには戦闘に不向きな私に助けられる始末♥

よく勇者を名乗っておいでですね♥

恥ずかしくならないのでしょうか？

よく今まで旅を続けてこられましたわね♥

よくその強さで勇者と名乗れましたわね♥

片腹痛いですわ♥

勇者の証である痣をこの目で見せていただいていなければ、

私、勇者さまを心底見下すところでしたわ♥

くすっ♥そう落胆なさらないでください♥

代わりに私と出会えたことを幸運と思ってくださいな♥

なにせ、私の能力、**ちり紙同然**の強さの勇者さまにぴったりですもの♥

いえ♥回復や補助魔法のことではありませんわ♥

そもそも力で私に負けてる貴方にかける回復魔法などありませんわ♥

ですが自己紹介の時に申しました私の特殊な力。

それが今の**尻ふき紙未満**の勇者様にお役立てすることができると言っておるのですわ♥

私の力はカンタンに申しますとレベルを上げる能力ですわ♥

世にも珍しいですわよね♥

ただ無条件でレベルをあげることはできませんの♥

三つ条件がありますの♥

一つ♥私の目の前で絶頂の瞬間を見せること♥

二つ♥その関係上なのであります私が私自身のレベルを上げることはできませんわ♥

三つ♥これも条件というより制限ですわね♥常識的というべきか不便というか…

この能力は一度使うと再使用に8時間ほど空ける必要がありますの♥

以上が条件になりますわ♥

ですがそれさえ満たせば雄雌関係なく、

誰かれ構わずレベルを一つあげることができますわ♥

なぜかとかナンセンスなことはお聞きにならないでください♥

大事なのはその力をどのように行使するか...その一点ではありませんか？

実際私はそのようにして今まで生きてきましたわ♥

そして今、眼前には世界の命運を握る勇者さまがいらっしゃって...

その勇者さまはくそざこの素人未満♥

であるなら成すべきことは一つ♥

勇者さまは私の前で射精をお晒しになることで♥

簡単にお強くなつて♥

世界を平和に導ける♥

その暁には勇者さまは皆さまから神のように崇められますわよ♥

それに...勇者さま♥

私分かっておりますわよ♥

とぼけないでくださいな♥

貴方...先ほどから私をいやらしく♥すけべえええ♥な目で見ておりますわよね♥

出会ったときから何度も私の胸をチラ♥チラ♥

揺れるおっぱいを覗き見しておりますわよね？

それも一度や二度ではなく枚挙にいとまがないほど♥
まいきよ

そんなにこの丸みを帯びた胸の膨らみが気になるのでしょうか♥

それだけではありませんわね♥

太ももやお尻を何度も何度もちらちら♥ちらちら♥

性欲だけはご立派ですわね♥

そういうのは強くなつてからやってくださいますでしょうか♥

ついでですので勇者さま♥

今この場で勇者さまのレベルをお調べしてもよろしいでしょうか？

言っておりますでしょう？

補助魔法全般が使えると♥

では失礼して.....

(魔法のエフェクト音)

ぷつ♥くくくつ♥5www

弱い弱いとは思っておりましたが、ここまでとはwww

勇者さまこの5がどれだけの値かお分かりでしょうか？

簡潔に申しますと人間の10歳児の平均レベルが5と言われておりますわ♥

10歳児のおこちやま♥

ちなみに私のレベルは85ですわ♥

実に17倍♥

先ほども申ししたとおり

私の能力で自分のレベルはあげられませんからこれは自力です♥

はっきりしてしまいましたわね♥私と貴方の差♥

その差は歴然♥

相手になりませんわね♥

正真正銘のくそザコ♥

取るに足らない塵芥ちりあくた♥

それが今の勇者さまですわ♥

しかも単に低レベルのザコってだけではありませんわね？貴方♥

薄々思っておりましたが…今のやりとりで確信いたしましたわ♥

貴方、マゾヒズムをお持ちですわよね♥つまりマゾ♥

先ほどか私に馬鹿にされてるというのに…♥

怒るどころか発情なさるお姿♥

無様ですわ♥

あら♥

見透かされてさらに興奮なさるとはどうしようもないマゾさまですわね♥

興奮なさるのはご勝手ですが…

世界、救う気あります？

その癌さえなければ貴方、最低辺の存在であるというお自覚はおありでしょうか？

一瞬それも悪くないとお思いましたわよね？

あーなんと救いようのないマゾなのでしょう♥

こんなのに世界の命運がかかっているなぞ正に世も末ですわあ♥

ですが♥

たとえその本性がクソザコのマゾさんであったとしても…

貴方にはこの世界を救っていただかなくては困りますの♥

他の女性であれば、愛想をつかし見捨てるところですが、
先の能力のこともありますし、
そもそも勇者さまにハナから愛想など毛頭ございませんゆえ
救ってさしあげますわ♥
ですからせいぜい、さっさとレベルを上げてくださいね♥
分かりましたか？勇者さま♥
お返事だけは立派ですわね♥

ではこれより僭越ながら勇者さまの耳穴へ、
淫らな言葉の数々を流し込んでさしあげますのでえ♥
ザコでマゾの勇者さまはちんぽお握りになって
馬鹿の一つ覚えのように、なっさけなくシコシコ♥シコシコ♥
オナってください♥
そして、どうかこの世界をお救いください♥
そのために、
存分に私に屈してくださいね♥
ゆ・う・しゃ・さ・ま�♥
ぼさっとなさらいでくださいなあ♥
シーコオ♥シーコオ♥
私の声、聴こえておりますでしょ？
でしたらあ～♥
おしこりいただけませんかあ？マゾ様あ～♥
ふふ♥そうそう♥できるではありませんか♥
オナニーも満足にできないのかと心配いたしましたわあ♥
それにしても♥ぷつ♥
いえ、失礼♥
こちらの勇者さまも勇ましさからは程遠いかわいらしいサイズですわね♥
とてもとても女性に太刀打ちできるサイズではありませんわよ♥
性器に入れてくださるメスを心優しい女性を探すだけでも一苦労だのに
入れたら入れたらで瞬殺♥
なっさけなく精液お漏らし♥

女性を満足させることなく一人勝手に果ててしまう姿容易に想像できますわあ♥

そんなチンポは女性から見れば**欠陥品**ですわよ♥

それがご理解いただけましたら、

ご自分の手で寂しく処理していただくのが世の女性のためですわよ♥

ほおおら♥

大好きなご自分の手でえ♥

さすりあげてえ♥こき下ろしてえ♥

さすりあげてえ♥こき下ろしてえ♥

シーコオ♥シーコオ♥

じゅるじゅるじゅるるるううう♥

ごくつ

聞こえましたでしょうか♥

今の音♥

私の口の中を這^はい^はする液体の音♥

じゅるるるるう♥

このようにい♥れろお♥

はしたない音お♥れえろお♥出してる恥知らずな口があ♥じゅうう♥

貴方のすぐ近くにありますのよお♥

じゅるるるるるうううう♥

ごくつ

舐めてもらえるなんてお思いですか？

ザコの癖に？

勇者さまのような低レベルには

私の唾液だらけの液まみれのお口がこんなに近くにある.....

その事実だけで十分でありましょう♥

じゅるじゅるじゅるるるううう♥

しーー.....こおおお♥

しーー.....こおおお♥

じゅるじゅるじゅるるるううう♥

ごくつ

しーー……こおおお♥

しーー……こおおお♥

このねちっこくてえ♥

吐息のかかる私のシコシコ♥

お気に召していただいてるでしょうかあ♥

こうしてええ♥

はああああ♥

女性に少し性欲を煽られるだけでオナニー止まらなくなってしまうんすのよねえ

♥

単純♥

虫けら同然ですわね♥

勇者さまあ♥

怒りましたか？

不機嫌になつてしまひましたでしょうか？

ですがああ♥

しーい♥……こおおお♥

しーい♥……こおおお♥

これでシコってしまわれるんすよねw

残念なお方ですわあ♥

ほらレベル5のザコチンポ♥

さっさと出していただけませんでしようか？

5から鍛えなくてはならない、

私の負担を少しでも軽くしようとはお思いにならないのでありますでしょうか？

申し訳ないと思っておりますでしようかあ♥

ふーん♥

でしたらあ……♥

さっさといけ♥ザーコ♥

ほら♥

しーー……こおおお♥

しーー……こおおお♥

しーー……こおおお♥

いってしまいなさい

子種をお♥

なさけなくう♥

吐き出してえ♥

アクメ顔をお♥

私に差し出すためにい♥

しーー……こおおお♥

しーー……こおおお♥

私の唇♥

ちゅぱ♥

しーー……こおおお♥

しーー……こおおお♥

口の中あああ♥

じゅるうううう♥ごくっ♥

しーーー……こおお♥

舌の上でえええ♥レロレロレロお♥

しーー……こおおお♥

踊り狂ってええ♥

くださいまし♥

たっぷり♥たあっぷり♥

鍛えてさしあげますわあ♥

ゅ、う、しゃ、さ、まあまああん♥

(射精)

あーあ♥あらあらあ♥

おもらしひپゆひپゆ♥

恥ずかしいですわねえ♥

耳元で

しーー……こおおお♥

しーー……こおおお♥

言われてるだけで

絶頂なされてしまうなんて♥

よっわーい♥ですわよ♥

もっとお強くなってくださいな♥

勇者さま♥

(耳もとにキス)

というわけで♥お射精なされたところでレベルの方確認させてください♥

(魔法のエフェクト音)

うん♥確かに6♥

...っとあら♥勇者さまの痣の数字も5から6になっておりますわね♥

なるほどその数字は勇者さまのレベルでしたか♥

成程♥

謎が一つ解けましたわ♥

私がわざわざ確認する必要はないというわけですね♥

ですが...レベルだけではステータスの方は分かりませんので、

ついでに調べさせていただきますわ♥

とは言え、5が6になったところで大したことは.....

あら♥あらあら♥さすがは勇者さま♥

一度あがるステータスは目を瞠るものがありますわね♥

この分ですと戦闘ではすぐに私も追い抜かれてしまいますわね♥

ですが♥どちらにせよ♥

勇者さまが一刻も早く強くなるにはどうしたらよいかお分かりですわよね♥

そう♥私にお射精させられること♥ですわよね♥

何より勇者さまは私の声でお射精させられてしまうの嫌いではありませんよね♥

悦んでいただけて何より♥

これからいっぱい♥いいっぱい♥負かしてさしあげますので♥

よろしくお願ひいたしますわね♥

勇者さま♥

————改ページ————

ep2 本能～Sa・Ga～

方針：レディとセリアは余裕綽々、優雅に マリアは最初は世話焼きな保護者っぽく、囁語を交える以降はとことん主人公をバカにしてください。
よゆうしやくしゃく
なんご

(まどろみの中、ぼんやり声が聞こえる。はっきりとは聞き取れない。(SEなし版では加工なし))

レディ<=>ふふふ♥何も知らずに♥幸せそうですわ♥

セリア⇒進捗はどう？

レディ⇒順調ですわ♥一般の家畜より成長が著しいですわ♥

セリア⇒あら♥さすが♥貴方が見込んだだけはありますわね♥

レディ⇒勿体なき御言葉ですわ♥

セリア⇒ふふ♥そのまま貴方に全てお任せいたしますわ♥

レディ⇒お任せあれ♥極上の家畜をご用意いたしますわ♥

セリア⇒期待してるわよ♥レディ♥それと...<

家畜さん♥ふふ♥大きくなーれ♥

レディ⇒ふふ♥大きくなーれ♥

レディ⇒大きくなーれ

セリア⇒大きくなーれ♥

(主人公目が覚める)

マ⇒あっ…お目覚めになりましたか？勇者さま？

声？私の？二人？

はあ…

勇者さまは寝起きになると、馬鹿に拍車がかかるのでしょうか？

見てお分かりになりません？

この部屋に貴方と私以外いるように見えます？

そもそも、わざわざ低レベのヘタレを寝込みで襲う方などおりますでしょうか？

どうせ悪い夢でもご覧になられたのでありますでしょうか…

それにしても…

(マリア、主人公の元へにじり寄る)

レベルが20に達し…

やっとこさ平均的な村人と変わらぬ水準になったかと思えば…

おひ
ぷつわ悪夢でお恥ずになるとは…♥

私は勇者さまのどこに勇ましさを感じ取ればよろしいのでしょうか？

一つ、浅学無知な私に教えていただけますでしょうか…♥

くすっ♥あらあら♥

お答えいただけないのですか♥

そうですわよね♥

だって勇者さまは勇者としての素養がとことん欠落しておられますものね♥

あら♥

ご機嫌を悪くしたのであればお詫びいたしますが…

私に見下されるのがだーい好きなマゾさまはそんなことはありませんわよね？

ほら♥股間の方は正直なようで♥

お目覚めになっておりますわよ♥

持ち主がバカならその一物もバカなのですわね♥

ふふ♥

ここまでコケにしてさしあげてるというのに、怒るどころか欲情なさるとは…

負け犬根性が大変根深いようで♥

お見それいたしましたわあ♥

私の見下し具合が不足していたようで失礼いたしました♥

心苦しいですが、もっと軽蔑して差し上げますのでお許しください勇者さま♥

お詫びと言つては何ですが、

丁度、勃起なされてるようですので、

お目覚めのお射精♥

私にお見せいただけますでしょうか？♥

はああああああ♥

(主人公、思わず仰け反る)

あら♥そう仰け反らせないでくださいな♥

夢見がよろしくなかったのでありますましょう？

それも兼ねまして私が慰めてさしあげますわ♥

なに、遠慮はいりませんわ♥

今でしたら私が保護者…

そうですわね…

勇者さまのお姉ちゃんになってあげても構いませんわよ♥

それともママの方がお好みでしょうか？

いずれにしても…。

力を抜いてくださいな♥勇者ちゃん♥

マリアお姉ちゃんが勇者ちゃんをばぶばぶちゃちえてあげまちゅからあ♥

いやなことぜーんぶバイバイちまちようねー♥

はーい♥よわよわ勇者ちゃんのずばん♥ぬぎぬぎちまちゅねー♥

こーら♥やーやーじゃないでちゅよー♥

レベルひくーいひくーい勇者ちゃんがあー♥

レベルたかーいたかーいお姉ちゃんに勝てると思ってるんでしゅかー？

勝てまちえんよねー♥わかりまちたかー♥

はーいよわよわちんちんお姉ちゃんに見られちゃってまちゅよー♥

くすっ♥

これほど見下されてるにもかかわらず、

ちんちんおっきくしてしまうなんてほんと負け癖が板についておりますわね♥

勇者さま♥

もっとお姉ちゃんに勝てない勝てないになってえ♥

お姉ちゃんを見るだけでちんちんぴゅぴゅつできるようになっちゃいまちようねー♥

その方がレベルも早くあがりますし…♥

なによりお姉ちゃんが楽になるためにもお♥

もっともっとお♥

お姉ちゃんに勝てなくなりまちようねー♥

はーい勇者ちゃん♥ちこちこしちてくだぢゃーい♥

は？

まさか私の手でしてもらえるとお思いで？

はあ…あまりこのようなことは申し上げたくないのですが…

失礼を承知で申し上げますわ♥

勇者さま.....。いえ...勇者ちゃん♥

勇者ちゃんはあー♥

頭わるいわるいなんでちゅかー？

先ほど申し上げましたわよね？

私の手を煩わせないでくださいと♥
わずら

私がレベルをあげる度に勇者さまにご奉仕するなど労力、時間の無駄であると...

であるなら畢竟、
ひつきょう

貴方が勝手にシコシコして勝手に至る方が効率的であると、

どうして思い至らないのでありますか？

それに貴方のような人の最下層であるマゾは女性にしてもらうより、

女性にしてもらえる状況下にもかかわらず、してもらえないことに性的倒錯とうさくを覚える...

そういう趣向の持ち主ですわよね♥

ですわよね♥

では...でしたらあ...

わかりましたよねー♥

どうぞ勝手に自分でおちこりちゅるんでちゅよー♥

勇者ちゃん♥

はあい♥ちーこ♥ちーこ♥

ちーこ♥ちーこ♥

ちんちんきもちいいでちゅかー♥

そうでちゅかー♥

こんなに馬鹿にされてるのにきもちいいんでちゅかー♥

こんなに見下されてるのにちんちんおっきとまらないんでちゅかー♥

よわよわでちゅねー♥

ざこマゾちゃんでちゅねー♥

だって勇者ちゃんとマリアお姉ちゃんだといっぱいいいっぱい♥

レベルが違いまちゅもんねー♥

よかったですちゅねーマリアお姉ちゃんに悪口言って貰えてー♥

もっと言ってあげまちゅからあ♥
さっさとちこちこちてくだちやいねー♥
はあい♥ぐーず♥へたれ♥弱虫♥ザコマゾちんかすの赤ちゃん♥
プンプン怒っちゃ、 やーでちゅよー♥
はーい♥ばーぶ♥ばーぶ♥ばーぶ♥ばーぶ♥
いいでちゅよー♥お上手でちゅねー♥
そのままちこちこちこちこおー♥ってしてえ♥
おちんちんからぴゅー♥ぴゅー♥
お精子おしつこしてるとこお♥
お姉ちゃんに見てもらいまちようねー♥
あれー？勇者ちゃんの元気なお返事がきこえまちえんよー♥
お返事できまちゅかー♥勇者ちゃん♥
ふつwくくくつw
はーいw
よくできましたーwww
何ですかw今まぬけなお返事はw
年甲斐もなくそんな頭ぽこちんなお声を上げて、恥ずかしくはないですか？
はーい♥ちーこ♥ちーこ♥ちーこ♥
お姉ちゃんこわいこわーいでちたかー？
気のせいでしゅよー♥マリアお姉ちゃんは優しいでしゅよー♥
よーし♥よーし♥
でもさっさとおもらしきれない悪い子は嫌いになっちゃいまちゅからねー♥
おちんちんシコシコはやくしましようねー♥
いないいなーい♥
バーカ♥
いないいなーい♥
バーカ♥
ふつwくくくつw
ほんとまぬけさんでしゅねー♥
べろべろばー♥

べろべろばー♥

どうしてこれでちんちん早くなっちゃんでしゅかー？

どうしてこれでちんちんからおつゆがでちゃうんでしゅかー？

不思議でちゅねー♥

頭わるわるの勇者ちゃんには分からぬいでちゅねー♥

べろべろおー♥...ばあか♥

べろべろおー♥...ばあか♥

くやちいでちゅかー♥

ずっと見下されてちんちんちこちこ止まらないでちゅかー♥

そうでちゅかー♥

もっともっとおー♥

お姉ちゃんに見下されちゃうのお♥

たまらなくだいちゅきになりまちようねー♥

そしてえ～♥

お姉ちゃんがばぶばぶ語使うだけでちんちんおつきして勝手に腰をふりふり♥

エッチなダンスをお姉ちゃんに見せられるようになりまちようねー♥

ほら♥今からお姉ちゃんに見せてくれるかなー？

勇者ちゃんの腰振りダンチュ♥

お姉ちゃんのばぶばぶ語に合わせてー♥

腰をふーり♥ふーり♥

ばーぶ♥ばーぶ♥ばーぶ♥ばーぶ♥

くつwwwおやおやwひつどいw無様ですわあwww

もっとしっかりお腰をふーり♥ふーり♥

お姉ちゃんが見てまちゅよー♥

もっとカッコ悪いとこお姉ちゃんに見せてくだぢゃーい♥

ばーぶ♥ばーぶ♥ばーぶ♥ばーぶ♥

勇者ちゃんはー♥

腰をふりふり♥ちんちんをしこしこすればするほどー♥

強くなーる♥強くなーる♥

でもでもー♥お姉ちゃんにはー♥

弱くなーる♥弱くなーる♥

もっともっとお♥

負けたくなーる♥

負けたくなーる♥

最後にはー♥

勝てなくなーる♥

勝てなくなーる♥

はーいふーり♥ふーり♥

そのままお精子おもらしするまでー♥

腰ふりふり、おばかさんダンス♥

やめちゃダメでちゅよー♥

やめたかったらはやくぴゅーぴゅーしまちょうねー♥

はーい♥へーこ♥へーこ♥

そういうばー♥

こんな頭がわるわるになっちゃうダンス見てくれる優しいお姉ちゃんへ何か言うことありまちえんかー？♥

お姉ちゃんに『僕のへたくそダンスを見せてごめんなちゃーいって』

ってごめんなちゃいできまちゅよねー♥

ほらー♥お姉ちゃんにごめんなちゃいちまちょうねー♥

はいwはいw

しようがないでちゅねー♥

ゆるちてあげまちゅよー♥

お下手でちゅねー♥

お似合いでしゅねー♥

おばかしゃんでしゅねー♥

お精子おもらしたら、もっとおばかしゃんになれましゅよー♥

腰をふりふり♥

お精子遠くにぴゅー♥ぴゅー♥しちゃいまちょうねー♥

勇者ちゃんはどこまで遠くへ無駄打ちできるかなー♥

遠くに飛ばせば飛ばすほどお姉ちゃんに笑ってあげまちゅからー♥

頑張って無駄打ちしまちようねー♥

はーい♥ふーり♥ふーり♥

しこしこ♥

しこしこ♥

もっとふーり♥ふーり♥

へーご♥へーご♥

アクメ頑張れー♥

アクメ♥

アクメ♥

アクメだけ考えてー♥

腰をふりふり♥

理性に負けるなー♥

魔物にも負けちゃダメでちゅよー♥

負けていいのはー♥

お姉ちゃんだけでちゅよー♥

頭わるわるになってー♥

ちんちんしこしこしてー♥

腰をふりふりおダンスしてー♥

お姉ちゃんに負けちゃいまちようねー♥

はーい♥お射精の時間ですよー♥

遠くへ飛ばせるかなー♥

上手に遠くにとばせたらあー♥

お姉ちゃんがばかにしてあげまちゅよー♥

まあwもう既に馬鹿にしてるんでしゅけどねーwww

だーかーら♥

さっさといけ♥お・ば・か・さ・ん♥

(射精)

くつwwwぶつwwあはははははははははwww

振ってるw振ってるw

上手上手wお上手でちゅねーwww

上手にアクメできましたねー♥

空気に向かってピュ一♥ピュ一♥きもちいいんでちゅかー♥

そうでちゅかー♥

と・こ・ろ・でえ♥

おちごとはなんでちたっけ？

勇者w勇者でちゅかー♥

お姉ちゃんよく知らないんでしゅけどー♥

勇者しゃんって女性に舐められてー♥

腰ふりふりちてー♥

ちんちんおもらしするのがおちごとなんでしゅかー？

うなんでちゅかー♥

立派なおちごとでちゅねー♥

惨めなマゾさんにしかできないおちごと頑張ってくださいねー♥

勇者ちゃま♥

ああん♥声ではなくお腰でお返事ちてくださいよー♥

へこへこ♥

くふふふwww

もう一回♥へこへこ♥

あはははwwwダメですわwww腹がよじれてこちらが死にそうですわwww

朝から大変愉快な物を見させていただきましたわ勇者さま♥

満足していただけましたでしょうか？

まあ...聞かずともその恥知らずな飛距離を見れば分かりますが...

やはり私が手でやるまでもないではありませんか♥

ほんとザコでいらっしゃいますわね♥

これでこのままだと今後も一切勇者さまに触れる必要はないさそうですね♥

汚らわしいものを触らずに済んでありがとうございます♥

手のかからないマゾで心から感謝いたします♥

(マリア身を引き、あらたまる。)

さて...

レベルを上げてさしあげたことですし...

いつまでも盛った犬のように腰を振っておられないで、

さっさと身支度を整えてくださいますでしょうか？

そもそも私がここに参りましたのは、

勇者さまがいつまでたってもお目覚めにならないからですわ♥

私的にはこの辺りの手間もなくしていただけると更にありがたいのですが…

まあいいでしょう…

とにかく今日中に王都に着き、

可能であれば拝謁の取り決めまで済ませてしまいたいので急いでくださいますでしょうか？

私と最低限度のレベルになった勇者さまであれば、王の信頼を得て、

ご助力を賜ることははそう難しいことではないでしょう。

ということで、外で待っておりますので着替えをすませてくださいな♥

それとも…私が手取り足取りお召し替えしてさしあげましょうか？

勇者さま♥

くすっ……冗談です♥

勇者さまのお体など触りたくありませんので私の方から願い下げですわ♥

(マリア、ベッドから降り、部屋を出ようとする。)

それでは、お待ちしておりますわよ♥勇者さま♥

(マリア退出する。)

(それから、マリアは主人公の聞いた声は夢だと思っているものの、一応主人公の身を案じて、毎晩主人公の部屋に侵入者検知の魔法をかけるようになった。しかし当の主人公はというと、そんなことは知る由もないのであった。)

————改ページ————

ep3 奸 ~The Manipulator & The Subvervient~

場所：宿屋 時間：夜

方針：セリア、レディ…特になし

マリア…一言で言うとやきもちを妬いているおり、そのフラストレーションを発散しつつ、飼い主の手を噛まないように躊躇するパートです。

(露がかった声が聞こえる。明瞭には聞こえない (SEなし版では加工なし))

(レディ 育成中の主人公に寄り添いながらその様子を観察している。)

(セリア、レディの背後から近づき声をかける。)

セ⇒私たちの馳走はどんな感じかしら？レディ？
ちそう

(レディ、振り向き答える。)

レ⇒お姉さま順調にすくすくと育っておりますわ♥

ちょうどレベル50と言ったところですわ♥

セ⇒ちょうど折り返し♥あー待ち遠しいですわ♥

どのように食してさしあげましょうか？

おっぱいでもぐもぐがよろしいかしら？

お尻から吸い取って差し上げるのも一興ですわね♥

レ⇒あらあら♥お姉さまったら気がお早いですわ♥

セ⇒そんなこといつてレディ貴方も楽しみでありますわ？

レ⇒姉さまほどではありませんわ♥

(セリア、肩越しにレディの手元を見る。)

セ⇒あら？だとしたらその机上のメモは何かしら？

私には食べ方が記載されてるように見えますわよ？

レ⇒やだ♥お姉さまったら…覗き見なんて趣味が悪いですわ♥

セ⇒でしたら遠慮せず言えばよいのに♥

レ⇒お姉さまを差し置いてそんなこと言えませんわ♥

セ⇒ふふ♥できた妹♥誇らしいですわ♥

ではこういうのは？

家畜の様子を見つつ共に食べ方を語らうの♥

レ⇒そんな...♥願ってもありませんわ♥

家畜さんもお目覚めになりますし丁度いいですわ♥

(セリア、レディに隣合う形で椅子に腰かける。)

セ⇒あら♥向こうの様子が見れますね♥これは長い夜になりそうね♥

レ⇒ええ♥須臾のことになりますよう♥

※須臾（しゅゆ）：意味1⇒ほんのわずかの間 意味2⇒しばらくの間

セ⇒あらあら♥お上手♥

それでは始めましょうか♥家畜さん♥

おいしく食べてさしあげますから♥早く大きくなるのですよ♥

レ⇒ふふ♥大きくなれ♥

セ⇒大きくなれ♥

レ⇒大きく大きくなれ♥

セ⇒大きく大きくなれ♥

(マリア、主人公の体を揺らし起こそうとしている。)

マ⇒勇者さま！...勇者さま！...勇者さま！(段々と明瞭にする)

(主人公、正気に戻る。目の前にはマリア)

勇者さま！

はあ...よかった.....

ようやくお気づきになられましたか...

(マリア、緊迫の反動から徐々にそして静かに苛立^{いらだ}を募らせる)

まったく...ほんとに勘弁してくださいますでしょうか...

人が正面でが話しているにも関わらず、

堂々と居眠りなさるなんてあまりに無礼ではありませんか？

そうですわ！

私が明日の予定についてお話ししておりましたのに呑気にぐーすかご立派なことで...

しかもなぜか私の解除魔法も一切効きませんし、

どこまで私を侮辱するおつもりなのでしょうか？

大体...この際はっきりと申し上げますが...

勇者さまは普段から勇者としてのご自覚が足りないのでありませんか？

少し、ほんのわずか、ごく微量、おたまじゃくしに脚が生える程度にお強くなられ、

周りの見る目は確かに変わりました

ですがそれによって、集る女性の声援や色目に対し、だらしなく鼻の下を伸ばすご様子…

はっきり言って不快、嫌悪いたしますわ♥

誰がどのようにして勇者さまの成長に貢献しているか、お忘れではなくて？

そうですわよね？私ですわよね？

私の能力があって、その上仕方なく、

私が勇者さまの自慰をお手伝いしてさしあげているから今の勇者さまがおありますよね？

そのようにして手にした力をよくもまあ…おくびにも出さずにデレデレと…

ふてぶてしいですわね♥

しかも…隣に私がいながらお盛りになるとは…いっぺんきつーく♥

羨ける必要があるようですわね♥

たとえば、勇者さまをちやほや祭り上げる皆様の前で、

オナニー噴水ショーをご覧に見せるというのはいかがでしょうか？

ねえ？マゾさま♥

は？嫉妬？今嫉妬と仰いましたか？私がやきもちを妬いてると？

ぷつｗ御冗談をｗ

勇者さまが誰に好意を寄せようと勝手ですが、私はただ立場を弁えていただきたいと申し上げてるだけですわ♥

だいたい毎晩、女に蔑まれ、為されるがまま、粗末なチンポを情けなく上下させた挙句、

子種をせっせと無駄打ちする方に対し、異性としての魅力を感じると思いますでしょうか？

私がマゾとお呼びするだけで勝手にご自分のことだと刷り込まれ、

快樂で身をよじらせてしまう憐れで救いようのない、負け犬に愛着が湧くと…本気でお思いでしょうか？

おご たか
それこそ驕り昂ぶりの確たる証拠ですわ♥

そうでありましょう？マゾさん♥

さあ…ご自分の身の程がご理解いただけましたら、

服をお脱ぎになって四つん這いになってくださいますでしょうか？

勇者さまが余計な心配をかけるので、私疲れましたの♥

勇者さまの下のお世話なぞさっさと终わらせて、就寝したいのです。

ひとりでにさっさと絶頂するのだけはお得意でありましょう？

お望み通りさせてあげますので、豚畜生のように服を脱ぎ、

四つん這いで地面に這いつくばれと申し上げているのです♥

何をぼさっといいるのです？

二度同じこと言わせるなんてほんとに使えない♥

ダメな家畜♥

何を戸惑うことがありますでしょう？

駄畜さま、私がこれまで貴方を見下した回数をお分かりになりますでしょうか？

そうですよね♥分かりませんよね♥

私もですわ♥

なぜならこの頃は顔を見合はずたびに見下しておりますもの♥

駄畜さまが常日頃から恥を晒してくださるおかげですわ♥

あまりに頻繁に晒していただけるので、

この頃は貴方を人ではなく間抜けな豚と認識することで心の平穏を保っておりますの♥

何が言いたいかと言えば、

今更駄畜さまがどのような醜態を晒そうが、

豚がしているのと何ら変わらないで何とも思いませんの♥

そして、^{だちく}そのような駄畜の分際で服を着るとは服に無礼でありますでしょう？

ですから、命じているのです。

さて、これで三度目になりますが、いつになったら私の言うことを聞き入れてくださるのでしょうか♥

駄畜♥服を脱ぎ、四つん這いになりなさい♥

ようやく、私の言葉がご理解いただけたようで♥

豚としては合格点ですわ♥

では、そのままご自分でしこりくださるでしょうか？

いつものことありましょう？

私の手を煩わせることなく早イキするのが駄畜さまのお仕事ですわよね♥

でしたら勝手にやってください♥

はいはい♥

しこしこしこしこ♥

おててでおちんぽ乳しばり♥

しこしこしこしこ♥

それではその調子で続けてください♥

私、これより寝支度をいたしますのがどうぞお気になさらず♥

おしこりなさってください♥

できるだけ視界に駄畜さまを入れておくようにいたしますが、

もし私の姿が見えないままいきそうでしたら呼んでくださいね♥

それ以外は夜分遅く迷惑ですので、大声は出さないでくださいますでしょうか♥

ご理解いただけましたら、せいぜい床でも舐めてお掃除しながらおしこりくださいね♥

駄畜さま♥

(マリア、憂さ晴らしがある程度済んだこともあり、上機嫌で洗面台に向かう)

ふーん♪ふーん♪ふーーーん♪

(マリア、歯磨きの支度をしている。離れたところから水道の音が聴こえる。)

(歯磨きしながら戻ってくるマリア)

ふつふーん♪

あらあら♥ほんとに舐めておいですわね♥

これは便利ですわね♥

ほら駄畜♥

左にほこりが落ちておりますわよ♥

しっかり取ってくださいまし♥

安宿ですからあまり文句は言えませんが、手入れが行き届いておりませんわね♥

あらあら♥その更に先には毛が落ちておりますわね♥

一体誰のでしょうか♥

駄畜さま取ってくださいます？

はい♥それですわ♥もぐもぐ♥よくできました♥

それ取り終えましたら

立て続けで申し訳ありません...お顔をあげてくださいますでしょうか？

ゆっくりでいいですわよ♥

そしたらそのままお口おあけください♥

(マリア、唾液と歯磨き粉の混じった液を主人公の口内目掛けて吐き出す)

ペッ！

じゅるっ♥もう結構ですわ

床掃除に戻ってください♥

そういうばついでですのでそのままお話を聞いてください♥

明日の予定についてですわ

駄畜さまがお眠りになられておりましたので今この場でお話させていただきますわ

♥

明朝は8時ごろに出発予定です

そして、市場で物資を調達し、

ここから北にあるという献身のオーブが眠るという古の神殿を目指しますの

直線距離では3日といったところでなのですが...

なにぶんこと神殿の間にガーゴイルの住処があるとのことでしたので、

少しでも戦闘を回避するために回り込んで神殿に向かうことに致しますわ♥

それを踏まえますと5日といったところでありましょうか♥

あっ...もう一度お顔あげてくださいますか？

お口も

ちゅくちゅくちゅ♥ペッ♥

ここまでのお話、駄畜さまのような脳みそでもご理解いただけましたでしょうか？

そうですか♥

ではなんのために神殿に眠るオーブのお名前はお答えできますわよね？

その通り♥献身ですわよね♥

射精のことしか考えてない間抜け面でしたので安心しましたわ♥

では献身のオーブにふさわしくなれるよう、

引き続きこの部屋の掃除にお勧めください♥

あつ...

駄畜さま、ちんぽの汁が床に垂れていますわよ♥

ダラダラ♥ポタポタ♥はしたなあい♥ですわ♥

せっかく出したのですしゴミ取りだけでなくワックスがけもお願いしまようか♥

腰を下ろして♥

ちんちんに床をおしつけて

ごしごし擦りつけるのです♥

ごおおおおおし♥ごおおおおおおし♥

はあ...ったく...なぜこの駄畜は感じてらっしゃるのでしょうか?

よいですか?これは掃除なのですよ?

貴方のばかちんぽが気持ちいいとか腰がきついとかどうでもよいのです♥

いやらしーい粘液を床になじませ、ピカピカに磨きあげることだけに注力していた
だけませんでしょか♥

すううううり♥すううううり♥

もっとしっかり床を磨いてくださいな円を描くようになさって

ぐううううる♥ぐううううる♥

へたっておりますわよ♥

もっとしっかり腰を使ってくださいな

ぐううううる♥ぐううううる♥

っぺ♥

ではその調子で私が戻るまでに綺麗にしといてくださいな♥

(マリア、上機嫌で再び洗面台へ向かう)

ふーん♪ふーん♪お水♪お水♪

(マリア、水道を開け、歯ブラシを濯ぎ、コップに水を入れる)

ふーんふ♪ふーんふ♪

(マリア、コップを片手に戻ってくる)

ただいま戻りましたわ駄畜さま♥

少しばかり綺麗に...

あー...これではダメですね♥全然ダメです♥

全然ふき取りが足りません♥

これでは失格です♥無価値です♥

掃除も満足にできないとはなんと使い道のないゴミであります♥

仕方がありません...私がお手本を見せてさしあげましょう♥

(マリア、主人公の顔を踏む)

掃除とはっ…んっ…このようにつ…ふつ…しかと擦りつけなくては

(強く踏む)

いけませんのつ…!

(強く踏む)

このようにつ…!

(強く踏む)

強くツ♥

(強く踏む)

強くツ♥

(強く踏む)

強くツ♥

(思いっきり頭を足でおしつける)

めりこむまでえ…♥擦りつけなくてはあ…♥汚れは取れませんのおお…♥んつ…♥ふ
つ…♥ふう…♥

分かりましたか♥

そうですか♥

では…そのまま己が無能さを噛み締めていきやがれですわ♥

この雑巾野郎♥

(執拗に踏みながら)

ほらツ♥

イケ♥

イケつ♥

イケつ♥

イケつ♥

イケつ♥

イケつ♥

これで終わりです♥

イ・ケ♥

(踏むと同時に射精)

はい

ピュッピュッぴゅ——♥

腰をびくんびくん跳ねさせて♥

自分でペニスを握って

牛のごとく

床に向かって負け汁発射♥

女性に足蹴にされながらの

相変わらずのなさけのないお射精お疲れ様でしわね♥

今日も私にお射精見てもらえてよかったですわね♥

これでついでに世界も救えるのですからありがとうございますわね♥

これは餞別ですわ♥
せんべつ

受け取ってください♥

(口に水を含み、口内を漱ぎ落した末、主人公に向けて水を吐き出す)

ごくっ...くちゅくちゅくちゅくちゅくちゅくちゅくちゅ

ペッ

)

。

△

。

(

あーあwせっかくおきれいにしたというのに、

床がお水と勇者さまの汚いミルクで台無しではありませんか♥

私の努力が水の泡ではありませんか♥

勇者さまの責任ですので、きれいに舐めとってくださいね♥

舌で掬い取ってゴックン♥美味しいですか？勇者さま♥
すく

でしたらもっと遠慮せず美味しそうに舌を伸ばしていいですわよ♥

はしたなあい音、立てていいのですわよ♥

じゅぞぞぞぞおつて♥

そうです♥できるではありませんか♥

私、コップを置いてきますので、その調子で全部舐めとってくださいね♥

(マリア、カップを戻しに洗面台へ)

あっ…忘れるところでしたわ♥

(キャンドルを手に戻ってくるマリア)

んつ♥んん一つ♥お掃除は終わりましたでしょうか？

(マリア、ベッドに腰かける)

まだのようですね♥

ではそのままお掃除お願いいいたします♥

私は寝ますわ♥

ん？勇者さまも？

くつwふふw失礼wしかしおかしいなことを仰いますわね♥

勇者さま先ほどあれほど眠っていらしたではありませんか♥

私の魔法が効かないほどに♥

それだけぐっすり眠られたのであればもう本日の睡眠は不要ですわよね？

ですわよね♥

ですからそんな勇者さまには私の心労を労い、癒す役目を授けてさしあげますわ♥
ねぎら

勇者さまそのまま四つん這いのままでいてください♥

(マリア、ベッドから立ち上がり主人公に近づく)

(火をつける音)

あー動かないでくださいな♥

手元が狂ってしまいますわ♥

やけどしてしまいますわよ♥

はいできましたわ♥

ふふ…よい香りでしょ？

勇者さまのお背中に載せたのはアロマキャンドルですわ♥

その中でもこれは希少な魔性植物エキスを使用しておりますので、多少値は張りますが魔力の回復効率が段違いですの♥

なにより香りが私好みで、これがないと私ぐっすり眠れませんの♥

3時間ほどで火が消えるようにしてありますので、勇者さま、四つんばいの体勢を崩さないでくださいね♥

もし落したりなどして火をお消しになられたら…

替えのものに火をつけ、ケツの穴につっこみ、明日一日その状態で過ごしていただきますので♥

お尻が大事でしたら、それと同じくらい丁重に扱ってくださいね♥

あとそれと…

当然ですがお掃除の方が終わっていないようなのでそちらもお願いしますね♥

私のため、できますわよね♥

勇者さま♥

はい、よいお返事♥

それでは灯り消しますね♥

また明日も共に頑張りましょうね♥

お休み♥勇者さま♥

(灯りが消える音)

————改ページ————

ep4 過去～VAGRANT～

宿屋：夜 マリアと主人公のレベルが一緒になってる

方針：気が進まないと口では言いながらもノリノリです。なんですかね？感慨深いものがあるからでしょうかね？それとも本性を知ったときの主人公の反応が楽しみなのでしょうかね？推論はできますが、僕は彼女ではないでご想像にお任せします。日記を開いた後はとにかく粘度をとにかく高く、常に腰をくねらせて無作為に色香をまき散らしていちいち淫靡な吐息を吐き出すセクシーすぎるお姉さんをイメージしてください。

(主人公、ドアを開けマリアの部屋に入って来る。)

いらしましたね♥

(主人公、歩み寄る)

では本日のレベリングと参りたいのですが…

はあ…どうにも気乗りいたしませんわ…

とうとうこの日がやってきましたか…

喜ぶべきか悲しむべきか…

ご自分の勇者の癌にある数字をご覧になってくださいな

87…そうレベル87…そのレベル私と一緒になのすわ♥

本日レベルをあげてしまえば勇者さまの方が上…

はあ…嘆かわしいですわあ♥

勇者さまに抜かれてしまうなんて屈辱ですわあ♥

恥ですわあ♥

負けてしまいますわあ♥

舐められてしまいますわあ♥

私明日から勇者さまにひれ伏さなくてはなりませんわねえ♥

敬わなくてなりませんわねえ♥

口惜しいですわあ♥

あらー♥

勇者さまあ♥

どうしたのですかあー♥

もっと嬉しそうにしてくださいな♥

明日からは嫌味ばかりの口うるさい女を黙らせることができますのよ♥

馬鹿にできますのよ♥

ザコと罵ることも

足手まといとも仰ることができますのよおー♥

よかったですわね♥

マ・ゾ・さ・ま♥

あらー♥

今緩みましたわよねー♥

マゾさまと呼ばれて興奮なされてますわねー♥

ほんとダメですわねー♥

レベルがいくら上がろうとも、マゾさまのその負け犬体質は治りませんわねえー♥

むしろ、日増しに私に逆らえなくなっておりますわねえー♥

そんな奴隸根性が染み込んだ状態で、

私の上に立つなど、マゾの勇者さまには身分不相応ですわよねえー♥

ですがー♥

レベルを上げていただきないことには、私含めて人類の皆様が困り果ててしましますのでえ♥

勇者さまには嫌が応でもレベルをあげていただきますわ♥

よいではありませんか♥

明日から**格下**の私に負けられるのですわよ♥

低レベルに煽られながら、なっさけなく負け汁垂れ流すことができますのよ♥

上でも下でも快楽を享受できるとは...マゾはお得ですわね♥

ですが私を超えただけで舞い上がってはなりませんわ

記念に本日はそれを教えてさしあげます♥

そのために勇者さまに私のことを教えてさしあげますわ♥

私の職業はなにか御存知でしょうか？

そう♥僧侶ですわ♥

勇者さまに覚えていただけるなんて光栄ですわ♥

ですが、その前の職業は当てられますか？

ええ♥前職です♥

「考えたこともない」「そんなものがあるのか?」、
と言いたげな残念な脳みそにふさわしい間抜け面のご提供、感謝いたしますわ♥
それに免じて正解を申し上げますと、私、元々遊び人でしたの♥
そう♥遊び人♥職業と呼べるかどうかすら怪しいですわね♥
疑問に思いましたか?
戦闘が得意な私が高レベルであることに♥
よもや僧侶として人の道を外れることなく、
むしろ人を救い導くだけでぽんぽんレベルがあがると本気でお思いでしたか?
そんなお伽話あるわけないですわ♥
仮になれても。そのころには天に召されてしましますわ♥
教会のお偉い方を頭の中で想像していただければお分かりになりますでしょ?
ですが...遊び人は違いますわ♥
遊び人の本義は遊ぶことですから
遊ぶことがそのまま経験値になりますの♥
イメージしやすいよう、一例をあげますと♥

おまんこ しまくれば強くなれますの♥

ですので少し前の私は、時間があればちんぽのことばかり考え、
殿方がいれば、品のない顔でおちんぽにしゃぶりつく...
清く正しいビッチでしたの♥
嘘ではありませんわ♥
そもそも私がこの能力になぜ気づいたか、お分かりになりませんか?
少なくとも私が他者の絶頂を見たからですわ♥
しかも一度ではなく何度も見なくては分かりませんでしょ?
そしてそれが分かってから色々試してみましたわ
なにぶん遊び人ですので♥
ある時は修行所と称して抜きのみの風俗を営んで一儲けしましたし♥
ある時は男だけのパーティ内に取り入り、誑かし、崩壊させてみたり♥
あれは大層愉快なものでしたわ♥
入ったときは団結がどうの絆がどうのと大層なことを宣うておりましたが♥
あっけなかつたですわ♥

少しのボディタッチとチラリズムを撒き餌にはいはい誘い出してみれば、あら不思議♥

皆、私とおまんこしてしまうではありませんか♥

なぜなら、私とのセックスにはレベルアップという体のよい言い訳があるから♥

私とおまんこするのはパーティのために、何も悪くない♥

そう自分に言い聞かせながら私の体を貪る始末♥

すると、絆という言葉は見放され、

代わりにマリアという3文字が男どもを魅了し束縛するようになりましたわ♥

そして夢中になったところで、私は彼らへのセックスをお預けにしつつ、

オナニーのお手伝いに留めるようにしましたの♥

ただお手伝いするのではなく、こーして耳元へ貴方が一番好き♥あの人があいやらしい目で見てくる♥怖い♥守って♥

というように独占欲と庇護欲を掻き立てながら性処理してさしあげましたの♥

するとどうでしょう？

皆、欲求不満が募らせながら、私をいやらしーい眼差しで舐めまわしつつ、

私へ危害が及ぼぬよう、互いに互いを牽制、ギスギスいがみ合うではありませんか♥

仲がよろしいことで♥

むじな
その様は、同じ穴の貉ちゃんでありながら、

ワンちゃんとお猿さんの間柄そのものでしたわ♥

さらに面白いのが私の扱いですわ♥

問題に対し、もっとも単純明快な解決策はその原因を取り除くことありますが…

元凶の私を取り除くどころか、丁重に扱ってくださるではありませんか♥

その様は姫そのもの♥

私とセックスをしたいがために下心丸出しで私のご機嫌取りをする様♥

壯觀でしたわあ♥

ですが、段々とその扱いに飽き飽きし、そもそもレベルを上げても大して強くもないザコのフニャチン共でしたので、

戦闘中に適当な魔物を私だと錯覚させる魔法をかけて抜け出しましたわ♥

まだ魔物を私と思い違いしたまま、旅をお続けになつていいのでしょうか♥

まあ、どうでもよいことですわ♥

あら♥信じられませんか？

でしたら実際に見せいたしますわ♥

(マリア、ふところから日記を取り出し勇者に見せつける)

この本♥日記なのですがただの日記ではありませんわ♥

魔法道具の一種でして、

かいつまんで説明いたしますと、

対象者の映像を記憶して、別の人々にその映像を見せることができます

私が勇者さまと出会った日、なにをしていたかお分かりでしょうか？

はぐれた仲間を探す…なーんてことはありません♥嘘ですわ♥

正解は男漁り、ですわ♥

あのように通りかかるちんぽに拾ってもらうっておめこいたすのです♥

もし強いちんぽであればそのまま性欲処理させつつ楽に旅を進めますし、

弱いちんぽであれば、

一つレベルを上げたサービス料として身ぐるみ全て頂いてまた別の男を漁る♥

そういうお遊びですわ♥

先ほどお話したパーティもそのようにして付き添わせていただきましたわ♥

そして今、この日記に入っていますは、

勇者さまと出会う以前に供にしていた強いちんぽの殿方とおめこしたときの記憶♥

戦闘的には貧弱極まりないものの、

財力とちんぽでものを言わせておりましたおじさまとのおめこの記憶ですわ♥

これを私のレベルをお抜きになる記念にお見せいたしますわ♥

勇者さまの積み上げたレベルが如何にお飾りであるか教えてさしあげますわ♥

(紙が一枚一枚めくられじょじょに早くなっていく　以下現在のマリア=マA、回想内のマリア=マBとして区別)

マB⇒お・じ・さ・まあ～♥

早く私におちんぽさまをめぐんでください～い♥

でないとちんぽ入れる穴がさみしくて仕方ありませんの一♥

えっ♥そんなこと…そんなことでよろしいですかあ～♥

おじさまの前でそんなことさせていただけますかあ～♥

このマリア喜んでやらせていただきますわー♥

ほ"つ♥ほ"つ♥お"つ♥お"♥ (1,2,3,4というリズム感で)

ほ"つ"♥ほ"つ♥お"つ♥お"つ♥

腰振りいダンスラ♥お"つ♥お"つ♥

おめこもとめてえ♥おっぴろげえ♥

かもおん♥ぱりいづちんぽお♥

ちんぽお♥ここにちんぽお♥ぶちこんでえ♥

メスを教えてくださあい♥

ほ"つ"♥ほ"つ♥お"つ♥お"つ♥

マリアのここ♥ここ♥♥ここ♥♥♥ここがあ♥♥♥♥♥

盛って♥盛って♥お盛んすぎてえ♥

おまんこじゅるう♥じゅるう♥

ダラダラああああ♥

涎が溢れ切っておりますううう♥♥

見ておりますかあ♥

くうううう♥

ぱああああ♥

おまんこ開閉

くうううう♥

ぱあああ♥

開くたびにい♥

汁がケツ穴に垂れちゃいますうう♥

おつ♥ケツ穴締まるつ♥ふう♥

この賢さ皆無のどすけベダンスでえ♥

おちんぽお勃起してくださあい♥

媚びつ♥媚びつ♥交尾ダンス♥

う"つ♥ほ"つ♥ほ"つ♥お"つ♥お"おつ♥

腰を浮かせて1♥2♥

腰をくねらせ♥1♥2♥

股を開いて1♥2♥1♥2♥

おめこ前後に1♥2♥1♥2♥

(以下しばらくマリアAパート)

マA⇒お聞きなられておりますでしょか?

私のどすけベダンス♥

すっごくエロい上にひどくお下品♥

殿方の慰めものになることしか頭にないのがお分かりでありますか♥

つよい殿方の前ですと私、

ちんぽに媚びて媚びて媚び尽くしてしまいますの♥

実のところ、私は本来オスに屈服し、

自身がちんぽを入れる容器であると刻み込まれたいのです♥

そしてちんぽをぶち込まれ犯されされることで私という容器は満たされるのですわ♥

だのに勇者さまでしないのは勇者さまが一番お分かりでありますか♥

勇者さまが媚びるに値しないザコマゾだからですわよ♥

ほら♥こうしてなじられているというのにちんこを膨張させてしまう♥

しかもなんと矮小なこと♥
わいしょう

レベル80以上でこれでは伸びしろのなさに笑うしかありませんわね♥

(ここまでマリアAパート)

マB⇒はあああ♥それですぅ♥おじさまのお・ち・ん・ぽ♥

(ちんぽの匂いを肺一杯に詰め込む。) すうううう♥んふう♥はあああああ♥

(唾を呑み込み、欲が抑えきれずに舌を舐めまして咥えることをシミュレートしてしまう。) ごくっ♥れろれろお♥

こんなごちそうをぶら下げられておあずけなんてえ♥

イケずですわあ♥

一刻も早くこのおちんぽ、頬張らせてくださいなあ♥ご主人様♥なんでもいたしますわあ♥

ああ♥ありがたいですわ♥ちんぽに違わぬ寛大さ惚れ惚れいたしますわあ♥

では♥さっそく...♥あつ♥

私としたことが♥失礼いたしましたわ♥

無礼にもおちんぽ様への礼節を欠いておりましたわあ♥

誠心誠意を以ってご挨拶させていただきますわあ♥

(額を床につけ土下座)

おちんぽさまあ♥

誠心誠意を以ってご奉仕いたしますのでえ♥

おちんぽ様を私の卑しい口オナホに入れさせてください——い♥

(マリア頭を踏まれる)

がっ♥ぐひつ♥ありがとうございますう♥

もっと♥もっとお♥お強く♥

お踏みになってください♥

(踏む)

お"つ♥ぐひつ♥いく"つ♥♥

(踏む)

いぎつ♥お"つ♥お":お♥

(踏む)

あつ♥いぐつつ♥

(足で頭を押し付ける)

いぐうううう♥いぎますうううう♥

(並行して)

マA⇒ほら♥頭にこすりつけておちんぽに向かってど・げ・ざ♥

尊厳を捨てた無様な姿笑っていいですわよ♥

あらあら♥やっぱり興奮してしまわれるのですね♥

残念なお方♥

興奮なさるのは勇者さまが私に感情移入しておられるからですわ♥

どこまでいっても底辺這いつくばるのがお好きなのですわね♥

だから私に勝てませんの♥そしていつまで経っても勝てないのですわ♥

ざあああこ♥

(ここまで)

マ⇒ではしゃぶらせていただきますわ♥私のお口マンコご堪能下さい♥

ちゅつ♥

あああむ♥

じゅぼじゅぼじゅぼじゅぼおおん♥この...おちん...じゅぼ♥じゅぼ♥うめつ♥じゅぼ
じゅるるるるうううう♥じゅううううううううぱつ♥

じゅうううううじゅぼ♥うめつ♥うめつ♥んおつ♥んぷつ♥じゅぼ♥じゅぼおおお♥

じゅぶ♥じゅぶ♥じゅうううう♥んぽつ♥
さいっこうですわ♥このちんぽお♥竿はもちろん...♥このでっかくぶらさがった金玉♥
ああむつ♥
おむう♥おむう♥もむもむもむもうう♥もむううううう...♥つぱ♥
デカくて臭くてたまりませんわあ♥
ああむううううううう♥つぱ♥
ああむううううううう♥つぱ♥
ああ♥先っぽからおつゆが垂れているではありませんかあ♥
気持ちよくなってくださっておりますのねえ♥
ちゅるつ♥ちゅつ♥れろつ♥れろれろれろおおお♥♥♥うつめつ♥
れええええああむ♥
じゅううううううううううつぽ♥はあつ♥んつまああああ♥このちんぽやつばつ♥
れろおん♥れろれろれろおおお♥れほ♥れほお♥じゅぼじゅぼじゅるるううう♥
じゅぼじゅぼじゅぼじゅぼ♥じゅうううううう♥
そろそろお♥じゅうつぽ♥
ご主人様のお♥
おむつ♥じゅぼつ♥
むせかえるようなあ♥
じゅぼつ♥じゅぼつ♥
くっさいおザメイン♥じゅぞぞぞぞぞお♥
くださいい♥
じゅぼつ♥じゅぼつ♥じゅぼつ♥じゅるつ♥
んつ♥
んおつ♥
おぐつ♥んむつ♥んんつ♥
じゅうううううううう♥
むふつ♥ごふつ♥んんつ♥んもつ♥つぐ♥つづぐ♥
じゅぞぞぞぞお♥
うつ♥ぬむつ♥んんむつ♥うつつ♥んおつ♥んぐつぐ♥ぐつ♥うつ♥うう♥じゅううううう
うう♥つぱ♥

むあああん♥くっさいざーめん♥お恵みありがとうございます♥

もぐもぐもぐう♥ごっくん♥おえつ♥をおつ♥げえつ♥

(以下しばらくマリアAパート)

マA⇒あらあら♥ひっどいお顔♥

我ながら見事な便器顔ですわね♥

どうです♥今まで偉そうにお高く止まっていた女が晒す下品なフェラ顔♥

そそりますわよね♥

うおっ♥えっぐいバキューム♥しこれますわね♥

これでは家畜同然ですわね♥

でもこれは仕方ありませんの♥

だって大きくたくましいくっさいちんぽがあるんですもの♥

雌に許されるは屈服のみですわあ♥

んつ♥んふつ♥あらあら♥私ったら♥お口がちんげまみれ♥はしたないですわあ♥

ちんこにこびりついたカスも美味しそうに頬張って幸せそうですわあ♥

勇者さまの粗末なものとは大違いですわあ♥

よいのですかあ♥勇者さま♥

あんなに下品にちんぽ咥える女性が隣にいるのに自分の手でおしこりになってて♥

いいんですねえ♥なぜなら♥そちらの方がなっさけないですものねー♥

敗北と劣等感でちんぽしごくおててが止まりませんものねー♥

ほんとざっこw

だからわたくしにちんぽしゃぶってもらえないのですよ♥勇者さま♥

(マリア、本を1ページめくろうとして手を止める。)

マA⇒ご堪能う♥いただけておりますでしょうかあ♥

私のお♥お下品極まりないド・ス・ケ・ベ・す・が・たあ♥

これで終わりではありませんわあ♥

こ・こからはあ♥んふつ♥おめこおん♥パコパコですわあん♥

耳元で貴方を手玉に取るう♥

はあああああ♥

メスのお下劣な姿あ♥

よおくご覧になってください♥

(ページをめくる)

(ここまでマリアAパート)

マB⇒ぶつといちんぽのお・じ・さ・まあ♥

一発ぶっこぬいたところでえー♥

そろそろおー♥マリアー♥

お・め・こ♥

したいですわあー♥

見てくださいまあいなあ♥

私の穴♥雌汁が滴ってえ♥ずばずばずばばお♥つと奥までチンポガチ咥えしたくてし
我慢できませんのお♥

ここですわあ♥ひだひだをめくってめくったこーこ♥この穴にいー♥

ちんぽこぶっこみまんずりずりきめこんでえ♥

マジイキのガチアクメぶちきめさせてください....い"つ♥

(唐突に挿入される。)

ごつ♥おつ♥おお♥おおおおお♥

うおつ♥おつ♥おおおつ♥きたつ♥きたぎたあ♥おつ♥ちんぽおおおおん♥

ふううう♥ふうううう♥おお♥おぐうう♥あつ♥おつ♥ばかまんごあぐめいぎますう♥お
ぐつ♥

(息を整えた後、力を入れ直し奥までちんぽを押し込んでいく)

はあ...♥はあ...♥はあ...♥

ふつ♥おおおお♥

これえ♥壁えぐれるううううう♥

おつ♥おつおおお♥このちんぽお♥あつべえ♥

おつ♥んおつ♥おつ♥おつ♥おつおおおおお♥えっぐ♥

(軽く奥をこずくことで奥まで到達したと分かると、陰茎を極限まで押しめたの
ち一気に引き抜こうとする。、)

おつ♥そこつ♥ぱるちおお♥ちゅつ♥ちゅつ♥キスしてつ♥

おつ♥つほ♥ほほ♥ひきぬがれるううう♥ほつ♥ほおおおお♥まんこめぐれるううう♥
んほほほおおおお♥

カリ高でかちんぽ♥うつめえ♥やつべつわこれ♥おつおおお♥

(再び、奥へ突っ込む)

ずばお♥ずばお♥ずばほほほほおおん♥ぜんごお♥ぜんごおおおお♥
あーいく♥いぐいぐいぐいぐううう♥おつ♥おおつ♥おつ♥マン汁う♥やっべ♥おつ♥ん
ぎつ♥いってるううう♥いってるのにいいい♥
うおおつ♥うおおお♥おつ♥ほつ♥んほつ♥おおん♥おつ♥おつおおん♥
(ピストンペースを早めながら、徐にマリアの鼻穴が上向きに引っ張られる。)
おつ♥おお♥あつ♥ダメつ♥んおつ♥おつ♥おお♥んぎつ♥
んがつ♥あつ♥鼻あ♥ひっぱらないれえ♥ふごつ♥ふひつ♥つふんつ♥ふつ♥ほごつ♥ほぐ
つ♥ぶつ♥ぶひいいいい♥
ひどおいですわあ♥ふごつ♥豚扱いなんてえ♥ふごう♥ふごおん♥ぶひつ♥
く...屈辱ですわあ♥
おつ♥おおつ♥ぶひつ♥でもお♥たまりませんわああ♥
ふひつ♥ぶひ♥ぶひ♥おつおつおおん♥ぶひや♥おごつ♥んおおおおおおつ♥ふごつ♥
ぶひいいいい♥
ふつふつふつふうううう♥ふう♥ふう♥ふごつ♥んごつ♥
お"つ♥お"ごお♥お"おおお♥ふごお"お"お"お"♥ぶひぶひいいい♥
おぐ"つ♥お"ぐつ♥お"ぐつ♥おぐううううう♥いきじぬううううう♥お"つ
お"お"お"お"♥
すみませえん♥おつ♥ひとりでかつてにい♥んおつ♥ばか面さらしてないでえ♥おごつ
♥
おちんぽごほうじじますうううう♥ふごつ♥ふごおん♥んおつ♥おつ♥
(スパート、お疲れ様です。あと少し頑張ってください。)
まんこしつかりしめますんでえ♥便器にだしてくださあい♥おう♥んはあ♥おおつお
おん♥んばおおおん♥おつ♥しめるとつ♥いぐつ♥
やっぱむりですうう♥アグメぎめまずうううう♥ぶざまにアグメつ♥アグメつ♥アグ
メいぐううううううう♥んぎいいいい♥
お"つ♥お:お:お:お:つ♥:おお"お"お"ん♥おほつ♥んほつ♥
おつおん♥あつ♥お"つ♥ふひつ♥ふうう♥ふうう♥
んおつ♥まんこお♥まんこにい♥お出しくださあい♥
おつ♥いぐつ♥まだいぐう♥んふう♥注いでくださあい♥んおつ♥
この豚便器にい♥お汁をおおおお♥お"ぐつ♥ふごつ♥
あつ♥ダメつ♥大きいのくる♥くるつ♥くるつ♥いぐつ♥いぐつ♥いぎつ♥いぐううう
つ♥んおつ♥おつ♥おおおおつ♥
(射精)

ふごつ♥ふひつ♥おつ♥ふごおおおおおお♥
ざーめん出てる♥ありがとうございますうううう♥んごつ♥
ふう♥ふう♥ふごつ...♥ふごつ...♥ぶひつ♥んぎつ♥
お便器お使いいただきありがとうございますうう♥
んひつ♥
ああ♥あはあああ♥踏んでいただきありがとうございますうううううううう♥
おほつ♥ちょっといぐつ♥んおつ♥おつ♥

(以下マリアAパート)

マA⇒いかがでしようかあ♥私の生交尾いー♥ガ・チ・イ・キ♥しておりますわよお♥
よかったですわねえ♥
マゾの勇者さまでは私を雌豚にさせることなど一生かけても不可能でありますから
貴重ですわよお♥私のメ・ス・ガ・お♥
いいですかあ♥勇者さま♥女性がガチイキするときはこのようなあられもない声をあげますわよお♥

決して

「あーん♥いくうう♥だめえ♥いっちゃううううう♥」

などといった猫をかぶった声をあげませんのよ♥

このようにケダモノになりますわよ♥

分かりましたかあ♥

ついでに勇者さまのマゾおちんぽでは決して出せないってこともお分かりいただけましたでしようかあ♥

ご・み・マ・ゾ♥

はああああああ♥

嘆かわしいですわあ♥

ここまで虚偽にされておりますのに♥

シコシコシコシコ♥

勇者さまはほんっとゴミですわね♥

レベルがあがって魔物は倒せるようになったのに♥

雌一人に抗えない♥

むしろますます雌に弱くなる♥

雄として劣っていく♥

勝てなくなる♥

レベルの高さなど無意味♥

私を豚のように屈服させるどころか

言葉だけで飼いならされる♥

か・ち・く♥

ぶひぶひ鳴く私

勇者さまは今後いついかなるときも♥

支配されるマゾであり続けるのです♥

ご理解いただけましたか？

それではあ♥

勇者さまのためにい♥心を込めて喘いでさしあげますのでえ♥

私のレベルを御抜きになってくださいなあ♥

あーん♥だめえ♥おまんこだめえ♥あんあんあんあーん♥ふふw

いっちゃん一♥私いってしまいますわあ♥一緒にいきましょ♥

勇者さまー♥ああん♥んつ♥いくつ♥準備はあ♥はあつ♥よいですかあ♥ではいくつ♥いきますわよお♥はあつ♥んつ♥あつ♥ああん♥くつ♥んつ♥んつん♥んにや♥ゆつ♥

勇者しゃまあああ♥.....んつ♥ふう♥はあつ♥んあつ♥ふう♥

(射精)

あらあらあらあら♥盛大にお精子ぶちまけてしまってえ♥恥ずかしげもなくびゅううう♥びゅううう♥びゅううううう♥上手に粗相、よくできました♥

あらあら♥

私ったら足蹴にされて悦んでしまっておりますわね♥

扱いが酷いと自覺するほど興奮し、そのような扱いをしてくれる飼い主に感謝してしまいます♥

快樂は感謝に♥

感謝は信仰に♥

信仰は献身に♥

勇者さまはならその気持ちお分かりになりますわよね♥

そのお気持ち忘れてはなりませんよ♥

(マリア、日記を閉ると姿勢を正し、優しく微笑みながら主人公と向き合う。)

お疲れ様です♥

いかがでしたか？

ご自分の如何に劣った存在かよおく噛みしめていただけましたでしょうか♥

どれだけレベルおあげになって私を抜いたとしましても、

勇者さまは私の僕であることがお自覚いただけましたでしょうか？

であれば今後も驕らずに精進して私に尽くしてくださいね♥

旅も佳境ですし、気を引き締めていただくために、

本日は勇者さまにそれをお伝えしたかったのですわ♥

なにぶん僧侶ですので♥

もし戦いが終わって世界を救えた暁には、

今度は直でほかの方とのドスケベ交尾を見せてさしあげますわ♥

ですから…共に世界、救いましょうね♥

勇者さま♥